

# CSRマネジメント

## CSRビジョン

ヤマトグループは、公共性の高いサービスを提供し、社会と共に成長する企業として、「社会から一番愛され信頼される会社」となることを目指しています。

そのために、1931年（昭和6年）に制定された「社訓」を原点として、「経営理念」「企業姿勢」「社員行動指針」からなる、『グループ企業理念』を制定しています。

ヤマトグループにおけるCSRのビジョンは、『グループ企業理念』に掲げた会社としての姿勢や社会個人としての行動を通じて、経営理念を実現し、社会と自社が持続的に成長をし続けていくことです。

## CSR推進体制

グループ全体のCSR推進統括のための専任部署をヤマトホールディングスに設けています。また、各グループ会社にもCSR担当者を配置し、グループを挙げてCSRを推進しています。

4半期毎に主要グループ会社のCSR担当者が委員となる「地球環境委員会」を開催し、環境だけでなく広く社会に関する課題について情報共有や議論を行っています。重要な議題については、適宜、経営会議・取締役会で議論・決議を行っています。

## 主要な取り組み分野

ヤマトグループの事業特性や社会への影響を考慮し、「安全」「環境」「社会」を主な取り組み分野としています。

それぞれの詳しい取り組み内容については、以下からご覧ください。

**安全** 人命の尊重を最優先し、常に安全の達成に努めます。

**環境** 「ネコロジー」を合言葉に、環境にやさしい物流の仕組みをつくります。

**社会** ステークホルダーから信頼され、期待される存在を目指します。

## SDGsへの取り組み

ヤマトグループは、2014年4月に「国連グローバル・コンパクト」への署名を行うなど、持続可能な社会づくりに向けた国際的な取り組みに賛同しています。

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2030年に向けた国際社会共通の目標です。SDGsで示された、世界が抱える喫緊の社会課題の解決に向けて、私たちヤマトグループも事業を通じて取り組んでいきます。



(注) 主要な取り組み分野「安全」「環境」「社会」のそれぞれに関連するSDGsを報告ページにて示しています。